

戸田建設株式会社（2017年及び2018年グリーンボンド）

契約の種類： アニュアルレビュー

日付： 2021年12月1日

担当者：

Kosuke Kanematsu, kosuke.kanematsu@sustainalytics.com, (+81) 3 4571 2343

Marie Toyama, marie.toyama@sustainalytics.com, (+81) 3 4571 2343

はじめに

戸田建設株式会社（以下、「戸田建設」）は、長崎県五島市崎山沖に設置する浮体式洋上風力発電施設建設のための資金調達を目的として、グリーンボンドを2017年12月（5年債100億円）と2018年12月（5年債50億円）にそれぞれ発行しました（以下、「グリーンボンド」）。2021年11月、戸田建設はサステイナリティクスにグリーンボンドを通して2021年9月30日時点で資金の充当を受けた支出が戸田建設グリーンボンドフレームワーク 2017¹及び戸田建設グリーンボンドフレームワーク 2018²（以下、「フレームワーク」）で設定された、資金使途のクライテリアやレポーティングの指標に合致しているかについて評価を委託しました。本レビューは、サステイナリティクスによる戸田建設の2017年発行のグリーンボンドに対する4回目のレビュー³、又2018年発行のグリーンボンドに対しては3回目のレビュー⁴となります。

評価基準

サステイナリティクスは、以下の要件について、2017年12月から2021年9月の間に調達資金の充当を受けた支出を評価しました。

1. フレームワークで設定された調達資金の使途及び適格クライテリアとの適合
2. フレームワークで設定された各資金使途クライテリアに対する主要業績評価指標（KPI）に関する報告

戸田建設グリーンボンドフレームワークは、2017年に一回目のグリーンボンド発行のため策定され、2018年に二回目のグリーンボンド発行のため更新されました。戸田建設は、当該フレームワークにおいて、以下の資金使途、適格クライテリア及びKPIへの取組みを約束しています。（表1は調達資金の使途、適格クライテリア、また関連するKPIのリストです。）

表1：調達資金の使途、適格クライテリア及び主要業績評価指標（KPI）

調達資金の使途	適格クライテリア	主要業績評価指標
再生可能エネルギー（洋上風力発電）	<ul style="list-style-type: none"> 五島市沖洋上風力発電事業（長崎県五島市崎山沖）における浮体式洋上風力発電施設の建設に関連する支 	<ul style="list-style-type: none"> 建設された風力発電機の数及び風力発電機の出力

¹ 戸田建設グリーンボンドフレームワーク（2017年）の概要は、サステイナリティクスのセカンドパーティ・オピニオン内でご覧頂けます：
https://www.sustainalytics.com/wp-content/uploads/2017/10/Toda-Corporation_Green-Bond-Framework-and-Opinion_Japanese_final.pdf

² 戸田建設グリーンボンドフレームワーク（2018年）の概要は、サステイナリティクスのセカンドパーティ・オピニオン内でご覧頂けます：
https://www.sustainalytics.com/wp-content/uploads/2018/11/Toda-Corporation_Green-Bond-Framework_Japanese_Final.pdf

³ サステイナリティクスによる戸田建設の2017年12月に発行されたグリーンボンドの過去のアニュアルレビューは以下よりご覧頂けます：
 アニュアルレビュー（2018年11月）[https://mstar-sustops-cdn-mainwebsite-s3.s3.amazonaws.com/docs/default-source/spos/toda-corporation-green-bond-annual-review-\(japanese\)9c6d5d63-a1be-4ea5-9003-fc3294b0b260.pdf?sfvrsn=7dff3125_1](https://mstar-sustops-cdn-mainwebsite-s3.s3.amazonaws.com/docs/default-source/spos/toda-corporation-green-bond-annual-review-(japanese)9c6d5d63-a1be-4ea5-9003-fc3294b0b260.pdf?sfvrsn=7dff3125_1)

アニュアルレビュー（2019年11月）https://mstar-sustops-cdn-mainwebsite-s3.s3.amazonaws.com/docs/default-source/spos/toda-corporation-green-bond-annual-review-13122019-japanese.pdf?sfvrsn=e82d484c_3

アニュアルレビュー（2020年11月）https://mstar-sustops-cdn-mainwebsite-s3.s3.amazonaws.com/docs/default-source/spos/toda-corporation-green-bond-annual-review-japanese.pdf?sfvrsn=9557d54_3

⁴ サステイナリティクスによる戸田建設の2018年12月に発行されたグリーンボンドの過去のアニュアルレビューは以下よりご覧頂けます：
 アニュアルレビュー（2019年11月）https://mstar-sustops-cdn-mainwebsite-s3.s3.amazonaws.com/docs/default-source/spos/toda-corporation-green-bond-annual-review-13122019-japanese.pdf?sfvrsn=e82d484c_3

アニュアルレビュー（2020年11月）https://mstar-sustops-cdn-mainwebsite-s3.s3.amazonaws.com/docs/default-source/spos/toda-corporation-green-bond-annual-review-japanese.pdf?sfvrsn=9557d54_3

	出。関連する支出とは、風力発電機、浮体、送電網への接続を指します。	<ul style="list-style-type: none">適格プロジェクトによるカーボンオフセット量（入手可能データによる）
--	-----------------------------------	---

発行体の責任

戸田建設は、プロジェクトの説明、充当額、支出によるインパクトを含め、調達資金の充当を受けた支出の詳細に関する正確な情報及び文書を提供する責任を負います。

独立性と品質管理

投資家に環境・社会・ガバナンス（ESG）とコーポレート・ガバナンスに関する調査・格付けを提供するプロバイダとして業界をけん引するサステナリティクスは、戸田建設のグリーンボンドによる調達資金の用途を検証しました。本契約の一環として、同社のフレームワークとの適合性の確認のため、戸田建設の従業員からの文書の収集及び確認を行いました。

サステナリティクスは、調査にあたって、対象支出に関して戸田建設から提示された情報と事実に依拠しています。戸田建設が不正確又は不完全なデータを提供したことにより、本文書で示した見解、調査結果、結論が正確性を欠く場合、サステナリティクスはいかなる責任も負いません。

サステナリティクスは、評価プロセスにおいて最高の品質と厳密さを確保するためにあらゆる努力をし、審査結果の評価にあたっては社内のサステナビリティ・ボンド・レビュー委員会（Sustainability Bonds Review Committee）が監督を行いました。

結論

五島市沖洋上風力発電事業における浮体式洋上風力発電施設は現在建設中であるため、同社がプロジェクトの環境改善指標を測定することができない状態であり、本レビューの時点では公開可能な環境改善効果が存在しません。また、守秘義務契約に基づき、戸田建設は2021年9月30日時点におけるグリーンボンドの調達資金の充当金額の内訳をサステナリティクスに共有しました。サステナリティクスは、調達資金の用途を審査し、調達資金が風力発電機、浮体、送電網、その他プロジェクトに関連する支出を含む、風力発電施設の建設に係る支出に充当されたことを確認しました。

以上、限定的保証プロセスに基づき検討した結果⁵、すべての重要な側面において、戸田建設のグリーンボンドによる調達資金の充当を受けたプロジェクトが、フレームワークで規定された調達資金の用途及びレポートングクライテリアに適合しないと判断すべき事実は認められませんでした。

⁵ サステナリティクスの限定保証プロセスには、発行体の提供する、調達資金の充当を受けているプロジェクトの詳細に関する文書（プロジェクトの説明、充当額、プロジェクトによるインパクトなど）の調査が含まれます。発行体には正確な情報を提供する責任があります。サステナリティクスはプロジェクトの現地調査は実施していません。

調査結果の詳細

表 2：調査結果の詳細

適格クライテリア	調査手順	調査結果	特定された過失または例外
資金使途クライテリア	2017年12月から2021年9月の間にグリーンボンドによる調達資金を充当された支出を対象に、フレームワーク及び上の表1に示されている資金使途クライテリアとの適合性を検証。	審査したすべてのプロジェクトは資金使途クライテリアに適合していました。	該当なし
レポーティングクライテリア	2017年12月から2021年9月の間にグリーンボンドによる調達資金を充当された支出を対象に、同支出によるインパクトがフレームワーク及び上の表1に示されている環境改善指標と適合する形で報告されたかを検証。	五島市沖洋上風力発電事業は建設中につき、環境改善指標は報告されていません。同事業は、2023年12月の竣工を予定しています。	例外 (2021年9月30日時点において、五島市沖洋上風力発電事業は建設中につき、報告可能な環境改善指標はありません。)

参考資料

参考資料 1：グリーンボンドの調達資金の充当状況

1. 2017年12月に発行されたグリーンボンド（5年債100億円）

調達資金の用途 の категория	支出の概要	調達資金の 充当額 (百万円)
再生可能エネルギー	風力発電機、浮体、送電網、その他プロジェクトに関連する支出を含む、五島市沖洋上風力発電事業における浮体式洋上風力発電施設の建設に関連する支出	4,035
	充当額合計：	4,035
	未充当額合計：	5,965
	グリーンボンド発行による調達額合計：	10,000

2. 2018年12月に発行されたグリーンボンド（5年債50億円）

調達資金の用途 の категория	支出の概要	調達資金の 充当額 (百万円)
再生可能エネルギー	風力発電機、浮体、送電網、その他プロジェクトに関連する支出を含む、五島市沖洋上風力発電事業における浮体式洋上風力発電施設の建設に関連する支出	36
	充当額合計：	36
	未充当額合計：	4,964
	グリーンボンド発行による調達額合計：	5,000

免責事項

© Sustainalytics 2021 無断複写・複製・転載を禁ず

本書に包含又は反映されている情報、手法及び意見は、サステナリティクス及び／又はその第三者供給者の所有物（以下、「第三者データ」）であり、サステナリティクスが開示した形式及びフォーマットによる場合又は適切な引用及び表示が確保される場合のみ第三者へ提供されます。これらは、情報提供のみを目的として提供されており、（1）製品又はプロジェクトの保証となるものではなく、（2）投資助言、財務助言又は目論見書となるものではなく、（3）有価証券の売買、プロジェクトの選択又は何らかの種類の商取引の実施の提案又は表示と解釈してはならず、（4）発行体の財務業績、金融債務又は信用力の評価を表明するものではなく、（5）いかなる募集開示にも組み込まれておらず、組み込んではありません。

これらは、発行体から提供された情報に基づいたものですので、これらの商品性、完全性、正確性、最新性又は特定目的適合性は保証されていません。情報及びデータは、現状有姿にて提供されており、それらの作成及び公表日時時点のサステナリティクスの意見を反映しています。サステナリティクスは、法律に明示的に要求されている場合を除き、いかなる方法であっても、本書に含まれた情報、データ又は意見の使用に起因する損害について一切責任を負いません。第三者の名称又は第三者データへの言及は、かかる第三者に所有権があることを適切に表示するためのものであり、その後援又は推奨を意味するものではありません。当社の第三者データ提供者のリスト及びこれら各者の利用規約は、当社のウェブサイトに掲載されています。詳しくは、<http://www.sustainalytics.com/legal-disclaimers> をご参照ください。

発行体は、自らが確約した内容の確実な遵守とその証明、履行及び監視について全責任を負います。

英語版と翻訳版との間に矛盾もしくは不一致が生じた場合は英語版が優先されるものとします。

サステイナリティクス（モーニングスター・カンパニー）

サステイナリティクスは、モーニングスター・カンパニーであり、環境・社会・ガバナンス（ESG）とコーポレート・ガバナンスに関する調査、評価及び分析を行う独立系機関であり、責任投資（RI）戦略の策定と実施について世界中の投資家をサポートしています。ESG及びコーポレート・ガバナンスに関する情報及び評価を投資プロセスに組み込んでいる、数百に及ぶ世界の主要な資産運用会社や年金基金を支援しています。また、多国籍企業や金融機関、各国政府を含む世界の主要な発行体に、グリーンボンド、ソーシャルボンド、サステナビリティボンドのフレームワークに対する信頼性の高いセカンドパーティ・オピニオンを提供しています。2020年には、Climate Bonds Initiativeにより、3年連続で「気候ボンドのレビューにおける最大の認証機関」に選ばれたほか、Environmental Finance誌により、2年連続で「最大の外部レビュー機関」に認定されました。詳しくは、www.sustainalytics.com をご参照ください。

